

2025年度 事業報告

公益財団法人 日本レクリエーション協会

もくじ

2025年度事業総括	3
1. レクリエーション運動を担う人材の育成	4
(1) レクリエーション研修	
(2) 公認指導者養成	
(3) 課程認定校での公認指導者養成	
(4) 公認指導者の審査・登録	
2. 指導者の活動支援と地域組織支援	8
(1) レクリエーション・インストラクタースキルアップ制度の整備	
(2) 公認指導者の指導力強化ワークショップ	
(3) 情報提供	
(4) 地域組織支援	
(5) 公認指導者資格の更新	
3. レクリエーションの普及・啓発	13
(1) 全国イベント・啓発	
(2) 生涯スポーツ推進及びその他レク普及	
4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及	17
5. その他 法人事務	18
2024年度 都道府県別公認指導者数一覧	21
2024年度事業報告 附属明細書	22

2025年度事業総括

2025年度は、「中期計画 2024」の2年目として、レクリエーション運動を進める基本的な事業である公認指導者養成と、都道府県のレク大会及びレク活動の普及事業、公認指導者を活用した講師派遣事業を全ての都道府県協会で拡充することを目指して事業に取り組んだ。また、これらの事業を通して加盟種目団体の普及活動を支援し、多様な種目普及団体とのネットワークづくりにも取り組んだ。

公認指導者の養成は、ほぼ全県で実施できたが、都道府県協会での養成数は398名（前年度：440名）に留まった。課程認定校での養成数も1,599名（同1,869名）となり、全体で2,031名（同2,380名）となった。公認指導者の更新については、レク・インストラクターの更新は10,341名・更新率72.3%（同11,541名・72.8%）となり、全資格では12,986名・更新率73.9%（同14,410名・74.5%）となった。全体の公認指導者数は、昨年度より2,801名減少した34,587名（同37,388名）となった。

都道府県のレク大会及びレク活動の普及事業の拡充を図るために、引き続き「スポレク EXPO ～健康スポーツ・フェスティバル」と「健康スポレクひろば普及推進事業」を進めた。スポレク EXPO は全国21会場で41回実施され、27,880名が参加した（同21会場・54回・35,046名）。健康スポレクひろばは全国73地区で762回のプログラムを実施し11,659名が参加した（同74地区・756回・12,096名）。

都道府県協会の普及事業は、全国一斉「あそびの日」キャンペーンでは42都道府県協会が243プログラムを実施し、参加者数79,319名、スタッフ6,395名となり、レク・サポーター401名、元気アップ・リーダー546名を養成するなど、前年を上回る展開もあった。その一方で、小規模な普及活動を促進する「元気アップ教室」が全国15会場・32回の実施に留まるなど、活動の停滞をうかがわせる状況も確認された。

第79回全国レクリエーション大会（愛知県）においては、一般市民に向けた体験イベントとしてスポレク EXPO を開催し、加盟種目団体に加えて、新しいレクリエーションスポーツの普及団体との連携を進めた。これらの団体のネットワークとして加盟団体に「育成団体」枠を設け、今後の事業連携の枠組みを創ることができた。

2025年度は、「中期計画 2024」により、都道府県協会の公認指導者養成や大会、普及事業への取り組みが前年度よりも活性化し、組織の高齢化に対応するための世代交代への意識も強めることができた。しかし、公認指導者数の減少を止めるには至っていない。

全体の収入については、公認指導者数とスポーツ・レクリエーション用具の普及収入の減少により、前年から5,300万円減少した3億9,529万円となり、収支はかろうじて340万円のプラスとなった。

こうした状況から、将来的な予算規模に合わせた事業を再度検討し、支出の削減に引き続き努め、収益事業であるサービスセンターの収入増に取り組む。また、公認指導者養成カリキュラムの見直しと講師育成に取り組み、アクティブな公認指導者養成を増やすことにより、指導者数の増加や都道府県協会の講師派遣事業の活性化、レクリエーション用具の普及増を目指す。

1. レクリエーション運動を担う人材の育成

(1) レクリエーション研修

①レクリエーションカレッジ（修了証制度）の整備

様々なレクリエーション活動をテキストと動画で学ぶことができるサイト「レクリエーション・オンライン・カレッジ」において、これまで制作した動画に合わせて、下記のコンテンツ（テキスト）を公開した。

- ・公開予定テキスト：ゲーム・コスモス、ニチレクボール、ふらば〜る、ニチレクリング、フライングディスク

②介護・看護系教育機関へのレクリエーション学習の普及

大阪コミュニティワーカー専門学校にてインターナショナル・レクリエーション・サポーター養成を行い、32名に修了証を交付した。

また、養成校を増やすための媒体を作成し、外国人留学生を受け入れている介護福祉関連校へ送付した。

③都道府県レクリエーション協会による普及研修の促進

(1)レクリエーション・サポーター研修

都道府県レク協会にて全国37の研修会を開催し、合計401名がレクリエーション・サポーターに登録した。（2024年度：36研修会・331名）

学校レク・サポーター：1件・6名／*介護レク・サポーター：16件・223名／グループレク・サポーター：20件・172名

(2)元気アップ・リーダー養成

元気アップ・リーダー養成を23道府県にて50回開催し、合計546名が元気アップ・リーダーに登録した。（2024年度：30回・250名）

チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員・308名／ラダーゲッター普及員・60名／マンカラ普及員・13名／スポーツテンカ普及審判員・22名／ゲーム・コスモス普及員・66名／ニチレク・スティック普及員・12名／ニチレクボール普及員・49名／ニチレクリング普及員・15名／ふらば〜る普及員・1名

(2) 公認指導者養成

①レクリエーション・インストラクター養成

(1)都道府県レクリエーション協会との協働養成

日本レク協会（教材作成、広報、受講申込受付、通信学習）と都道府県レク協会（集合学習、現場実習）が協働で行う講習会を17都道府県で実施し、163名が受講した。（2024年度：15都道府県・171名）

(2)レク・インストラクター養成モデル講座

上記の協働養成の内容を基に、通信と集合学習を効果的に組み合わせることにより、

集合学習（3日間）で養成するモデル講座を8県（岩手県、秋田県、山形県、東京都、奈良県、和歌山県、愛媛県、鳥取県）で実施。108名が受講した。同時に、当該県の公認指導者を対象とした講師力強化トレーニング説明会には103名が参加し、担当講師の講義案添削や講義の振り返りなどをおして、講師育成も行った。（2024年度：5県・45名）

(3) 課程認定校等の教員を対象とした養成講座

新たに課程認定を検討・希望する学校の教員や、新たに課程を担当する教員のための養成講座（通信学習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ及びオンライン研修2日間）を実施し、10名が受講した。また、授業研究の機会として既に資格を持つ課程認定校教員が参加できる部分も設け、1名が参加した。（2023年度：資格取得10名）

② スポーツ・レクリエーション指導者養成

(1) スポーツ・レクリエーション指導者養成モデル講座

通信学習（理論科目）を取り入れた養成モデル講座を5協会（千葉県、東京都、山口県、徳島県、香川県）で実施し、52名が受講した。（2024年度：3協会・18名）

また、通信学習（理論科目）のみの「お試し受講」を実施し、9名に修了証を発行した。

(2) 課程認定校等の教員を対象とした養成講座

課程認定校での養成を促進するために、課程認定校教員（レク・インストラクター取得者）を対象とした補講講座（通信学習及びオンライン研修1日間）を実施し、5名が受講した。（2024年度：7名）既に養成を行っている課程認定校・担当教員からの事例発表も行った。

③ 資格認定委員会の開催

資格認定委員会を1回開催し、公認指導者資格の審査および課程認定校の認定、学習内容や養成方法、今後の資格制度の在り方等についての検討を行った。

また、福祉レク・ワーカーの養成カリキュラムについて、改訂に向けたワーキングを行い、テキストの内容について検討した。

○ 資格認定委員会委員（敬称略）

松尾 哲矢（委員長） 岡山 千賀子 小田原 一記 木村 貴子
永田 真一 吉田 伊津美 マーレー寛子

○ 資格認定委員会

・ 2025年2月17日（火）10:00～12:00 オンライン開催

○ 福祉レク・ワーカーカリキュラム検討ワーキング

・ 2025年4月22日（火）オンライン開催

・ 2025年9月18日（木）オンライン開催

・ 2025年10月1日（水）対面

(3) 課程認定校での公認指導者養成

① 課程認定校と養成課程数

「公認指導者養成制度」に基づき、大学、短期大学、専門学校の182校219課程を認定し、公認指導者の養成を行った。（2024年度；191校・233課程）

○2025 年度課程認定校 養成課程数

養成する資格種別	養成課程数
レクリエーション・インストラクター認定校	172
スポーツ・レクリエーション指導者	31
レクリエーション・コーディネーター認定校	7
福祉レクリエーション・ワーカー認定校	9
合計	219

②課程認定校での人材養成促進

(1)課程認定校教員・事務担当者オンライン・ミーティング

円滑な養成課程の運営及び資格登録等の手続きのために、オンラインによる教員・事務担当者とのミーティング・説明会を行った。

・2025年10月22日(水) 14:00~16:00

(2)新規認定校審査

2025年度は江戸川大学、鶴見大学、広島都市学園大学の新規養成課程設置に関する審査を実施した。

③課程認定校研究連絡会議の運営

課程認定校の教育活動の充実と相互の連携、都道府県レク協会との連携を図るために設置された課程認定校研究連絡会議の事務局業務を行った。

(1)総会・幹事会等

総会	2025年6月7日(土) オンライン	・令和6年度の会務報告(事業報告・決算報告)の確認 ・規約改定について
第1回 幹事会	2025年5月20日(火) オンライン	1.総会資料・進行の確認およびリハーサル 2.ブロック別情報交換会について 3.全レク大会での情報交換会について
第2回 幹事会	2025年12月18日(木) オンライン	1. 臨時総会資料の確認 2. 次回幹事会について
臨時総会	オンラインによる書面総会<2026年1月19日(月)~1月30日(金)>	1. 令和7年度 事業報告および収支見込み 2. 日本レクリエーション協会に提案する研究連絡会議の令和8年度事業および予算 3. 令和8年度・令和9年度 役員体制

(2)会議、研修事業等

全国研究集会	2025年11月1日(土) 会場:ウインクあいち	<プログラム> 13:00~/開会式、13:05~/研究発表、閉会/15:00
北海道・東北 ブロック研修	2026年2月17日(火) 会場:國學院大學北海道短期大学部、砂川オアシスパーク	北海道における氷上レクリエーションの実際:アドベンチャートラベル実践研修
関東・甲信越 ブロック研修	2025年10月4日(土) 会場:千葉工業大学 新習志野キャンパス 体育館	インディアカ実技研修 ~授業の導入、展開法~
東海・北陸 ブロック研修	2025年11月20日(木)、 2026年1月15日(木)、	レク力向上委員会(主催:日本レクリエーション協会)

	2026年2月28日(土)～ 3月1日(日)	
近畿 ブロック研修	2026年1月11日(日) 会場：人と防災未来センター	阪神・淡路大震災から30周年の節目の年に、「防災」をテーマにレクリエーション活動の可能性を考える
中国・四国 ブロック研修	2025年8月30日(土) 会場：松山東雲女子大学・ 短期大学	場面に応じたレク財の選択と活用法～目から鱗のアプローチ&アレンジ術～
九州・沖縄 ブロック研修 ※中国・四国共催	2026年2月28日(土) 会場：北九州市立大学北方 キャンパス	シンポジウム「世代や立場を超えて、レクリエーションの可能性を考える」(共催：九州レジャー・レクリエーション学会)
課程認定校支援	認定校の教育活動の充実を図るために、教育活動助成(1校)を実施。	

(3)自由時間研究の発行

2023年度の研究助成事業の査読付き論文3本と2024(令和6)年度の研究助成分4本の実践報告および1本の自由投稿原稿を研究紀要「Leisure&Recreation 自由時間研究」第50号に掲載・発行。J-STAGE(独立行政法人科学技術振興機構が運営する電子ジャーナルの無料公開システム)に登録した。

(4)助成研究事業

10件を採択(うち3本は申請取り下げ。自由時間研究 第51号に掲載予定)。

(5)課程認定校研究連絡会議会務事務局業務：会計管理など諸事務を処理した。

(4) 公認指導者の審査・登録

① レクリエーション・インストラクターの審査・認定登録

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	各都道府県レクリエーション協会で開催	390名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	1,360名
その他	課程認定校教員のための養成講習会/日本レク協会で開催	8名
合計		1,758名

参考：2024(令和6)年度

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	各都道府県レクリエーション協会で開催	430名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	1,649名
その他	課程認定校教員のための養成講習会/日本レク協会で開催	10名
合計		2,089名

② スポーツ・レクリエーション指導者の審査・認定登録

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	県レクリエーション協会で開催	70名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	171名
その他	課程認定校教員のための養成講習会/日本レク協会で開催	4名

合計		245名
----	--	------

参考：2024(令和6)年度

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	日本レク協会と各都道府県レクリエーション協会で開催	63名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	177名
その他	課程認定校教員のための養成講習会／日本レク協会で開催	7名
合計		247名

③レクリエーション・コーディネーターの審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
課程認定校 (4校)	各学校の学内審査により実施	4名	4名	4名
合計				4名

参考：2024(令和6)年度

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
課程認定校 (4校)	各学校の学内審査により実施	6名	6名	6名
合計				6名

④福祉レクリエーション・ワーカーの審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
課程認定校 (8校)	各学校の学内審査により実施	33名	24名	24名
				24名

参考：2024(令和6)年度

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	2025年1月22日：web審査	1名	1名	1名
一般合計		1名	1名	1名
課程認定校 (5校)	各学校の学内審査により実施	48名	37名	37名
				38名

2. 指導者の活動支援と地域組織支援

(1) レクリエーション・インストラクタースキルアップ制度の整備

①制度の周知及び昇級促進

ホームページや解説動画、レクルー記事を通して、制度の周知と昇級への意欲を高める情報発信を行った。また、都道府県レク協会へも定期的に情報を発信し、スキルアップの

促進、学びと実践の場の提供などの支援について協力を呼びかけた。

②上級レクリエーション・インストラクター審査会

第1次審査（書類審査）と第2次審査（東京で対面）を開催した。申請者13名中、第1次審査合格者6名、第2次審査には昨年度の第1次審査合格者2名も受験し、6名が合格した（2024年度：7名合格）。

また、オンライン予備校を開催し、申請者が審査内容や上級レク・インストラクターに求められる要件について理解を深めて審査に臨めるようにした。

○令和7年11月30日（日）国立オリンピック記念青少年総合センター

※第1次審査課題未提出4名

③準上級レクリエーション・インストラクター認定講習及び審査会

認定講習及び審査会を東京で2回開催し、申請者12名中7名が合格した（2024年度：6名合格）。事前審査課題及び当日審査対策のためのオンライン予備校をそれぞれ1回ずつ開催し、申請者が審査内容を理解して審査に臨めるようにした。

○2025年9月28日（日） ○令和8年3月1日（日）

国立オリンピック記念青少年総合センター

※課題未提出3名

④講師トレーニング

準上級レク・インストラクター認定の要件となる講師トレーニングをオンラインで3回開催し、延べ33名が受講した。講師力の向上に向けた事前課題を設定し、講師トレーニング当日の学習効果を高められるようにした。（2024年度：2回・24名）

・2025年11月27日（木）オンライン：9名

・2026年1月29日（木）オンライン：12名

・2026年3月10日（木）オンライン：12名

⑤中級レクリエーション・インストラクターの審査・認定

準中級レク・インストラクター（2023年度以前の昇級者）の審査を行い、54名が合格した。（2024年度：147名）

（2）公認指導者のレベルアップ及び地域組織の担い手育成のための「レク力向上委員会」

公認指導者の指導力のレベルアップを図るために、レク支援の技術解説や実践事例紹介、演習等のワークショップ（ライブ配信4回、対面ワークショップ2回）を「実践編」として開催し、延べ389名が参加した。（2024年度：413名）

また、都道府県及び市町村レク協会に関わる人材を主な対象として、組織の活性化をテーマとした「マネジメント編」（オンライン配信）を3回行い、延べ133名が参加した。

○【実践編】

・第1回：2025年7月22日（火）ライブ配信：78名

・第2回：2025年8月27日（水）ライブ配信：87名

・第3回：2025年9月27日（土）・28日（日）対面ワークショップ：32名

・第4回：2025年11月20日（木）ライブ配信：83名

- ・第5回：2026年1月15日（木）ライブ配信：87名
 - ・第6回：2026年2月28日（土）・3月1日（日）対面ワークショップ：22名
- 【マネジメント編】
- ・第1回：2025年9月1日（月）59名
 - ・第2回：2025年11月25日（火）37名
 - ・第3回：2026年2月25日（水）37名

（3）情報提供

①「レクぽ」及び電子ライブラリーを活用した情報配信

更新やスキルアップの学習教材動画などの掲載を行った。また「レクぽ」サイト内に電子ライブラリーを通じ、情報誌「レクルー」など協会が既に発行した出版物のコンテンツを公開した。

レクルー記事をweb用に加工掲載する作業を継続し、今後もコンテンツを増やす。

2025年度追加コンテンツ：617本（あそび・12本 読物・605本）

（2024年度：745本）

②情報誌Recrew（レクルー）の発行

公認指導者をはじめレクリエーション活動に関わる人たちに向けて、プログラムやノウハウ、用具等の情報を提供する情報誌Recrew（レクルー）を4回発行した。

2025年度は、スポーツ庁元長官の室伏氏のインタビューなどを行い、レクリエーションナールスポーツの重要性などを掲載した。

号 別	特 集
2025年5月号	レクの力を未来に生かそう！
2025年8月号	スポーツとレクリエーションが向かう未来。
2025年11月号	地域コミュニティについて考える
2026年2月号	第79回全国レクリエーション大会 in あいち この大会を未来のレクの礎に

（4）地域組織支援

①加盟団体運営代表者会議

都道府県レク協会、種目別加盟団体、加盟協力団体（オブザーバー）の運営代表者が集まり、レクリエーション運動の方向性や次年度に向けた課題について検討した。

全体会ではスポーツ庁から「レクリエーションナールスポーツの可能性について」説明等がなされたほか、次年度の日本レクリエーション協会の基本方針及び重点施策を説明し、内容を共有した。その後分科会に分かれて議論を行った（都道府県レクリエーション協会は2日間開催）。

- ・期 日 2025年12月9日（火）、10日（水）
- ・会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

②ブロック会議

レクリエーション運動を推進するための都道府県協会との連携・協働を図るため、ブロ

ック会議を以下のとおり開催した。2025年度は、都道府県レクリエーション協会に期待される役割（機能）および最低限求められる取り組みを示し、各協会の財政状況を確認しながら、組織運営について検討した。

ブロック名	日程	開催地	幹事県
北海道・東北	6月22日(日)～23日(月)	仙台市	宮城県
関東・甲信越	6月25日(水)	千葉市	千葉県
東海・北陸	6月21日(土)	富山市	富山県
近畿	6月16日(月)	奈良市	奈良県
中国・四国	7月3日(木)～4日(金)	高松市	香川県
九州・沖縄	6月15日(日)	北九州市	福岡県

③地域事業普及促進強化事業

都道府県レク協会の組織基盤強化と、普及啓発事業拡大のために、支援事業を行った。

(1) 「中期計画 2024」の推進

レクリエーション運動のミッション・ビジョンの実現に向け策定した「中期計画 2024」を推進するため、都道府県協会の事業実施状況を確認し、加盟団体運営代表者会議にて成果を確認した。

また、持続的な運営が可能となる組織となるための執行体制の見直し等について、6月ブロック会議で議論し、各協会の現状確認を行った。

(2) 都道府県レク協会経営モデルの提示

都道府県レク協会の機能を再確認（再整理）し、各協会機能の自己評価を行い、状況把握を行うとともに、最低限発揮すべき機能を提示した。

また、人材養成事業を休止しているなど、新たな人材育成や公認指導者との関りが弱い協会に対し、養成講座と講師育成を一体的に進める事業の実施をとおり、組織体制の立て直しに取り組んだ。

(3) 都道府県レクリエーション協会の事務局支援

法人化に向け、情報提供や相談等の支援を行うとともに、日中の電話対応ができない協会に対し、電話転送等による電話受付代行を行った。

(5) 公認指導者資格の更新

① 公認指導者資格の更新（2026年3月31日現在）

資格別	更新前人数	更新数	更新率
レクリエーション・インストラクター	14,307	-	72.28%
準中級レクリエーション・インストラクター		8,333	
中級レクリエーション・インストラクター		700	
準上級レクリエーション・インストラクター		997	
上級レクリエーション・インストラクター		311	
スポーツ・レクリエーション指導者	947	721	76.14%
余暇開発士	187	163	87.17%

レクリエーション・コーディネーター	877	733	83.58%
福祉レクリエーション・ワーカー	1247	1,028	82.44%
のべ人数	17,565	12,986	73.93%

参考:公認指導者資格の更新(2025年3月31日現在)

資格別	更新前人数	更新数	更新率
レクリエーション・インストラクター	15,857	-	72.78%
準中級レクリエーション・インストラクター		9,358	
中級レクリエーション・インストラクター		753	
準上級レクリエーション・インストラクター		1,085	
上級レクリエーション・インストラクター		345	
スポーツ・レクリエーション指導者	961	740	77.00%
余暇開発士	165	138	83.64%
レクリエーション・コーディネーター	950	821	86.42%
福祉レクリエーション・ワーカー	1,405	1,170	83.27%
のべ人数	19,338	14,425	74.52%

②公認指導者数(2026年3月31日現在)

資格名	人数
レクリエーション・インストラクター	6,095
準中級レクリエーション・インストラクター	17,917
中級レクリエーション・インストラクター	1,455
準上級レクリエーション・インストラクター	2,091
上級レクリエーション・インストラクター	652
スポーツ・レクリエーション指導者	2,165
余暇開発士	300
レクリエーション・コーディネーター	1,607
福祉レクリエーション・ワーカー	2,305
のべ人数	34,587

参考:公認指導者数(2025年3月31日現在)

資格名	人数
レクリエーション・インストラクター	6,985
準中級レクリエーション・インストラクター	19,309
中級レクリエーション・インストラクター	1,456
準上級レクリエーション・インストラクター	2,239
上級レクリエーション・インストラクター	693
スポーツ・レクリエーション指導者	2,165
余暇開発士	326
レクリエーション・コーディネーター	1,718
福祉レクリエーション・ワーカー	2,497
のべ人数	37,388

3. レクリエーションの普及・啓発

(1) 全国イベント・啓発

① 第79回全国レクリエーション大会 in あいち

「愛を育み 知を集め 笑顔と会話で 広がるレクの輪」をスローガンに、第79回全国レクリエーション大会 in あいちを、愛知県名古屋市を中心に豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、豊川市、碧南市、豊田市、安城市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、大府市、知多市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、豊山町で開催した。

総合開会式、交歓の夕べをはじめ、25種目のスポーツ・レクリエーション交流全国、37の研究フォーラム、シンポジウム、一般市民を対象とした特別行事（スポレク EXPO・レクリエーション体験ひろば）を開催し、全国から延べ39,117名の参加を得て成功裏に開催することができた。

- 主 催：公益財団法人日本レクリエーション協会
特定非営利活動法人愛知県レクリエーション協会、
愛知県、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、豊川市、
碧南市、豊田市、安城市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、大府市、知多
市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、豊山町、公益財団法人愛知県
都市整備協会、公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団、株式会社中日
新聞社
- 共 催：スポーツ庁
- 後 援：総務省、環境省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、林野庁、人事院
(一財)日本宝くじ協会、(公財)日本スポーツ協会、(公社)全国スポーツ
推進委員連合、(社福)全国社会福祉協議会、(公財)健康・体力づくり事業
財団、(公財)日本パラスポーツ協会 ほか
- 開催市町：名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、豊川市、碧南市、
豊田市、安城市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、大府市、知多市、北名
古屋市、弥富市、あま市、長久手市、豊山町
- 期 日：2025年10月31日(金)～11月2日(日)
- 参 加 者：39,117名(3日間の延参加者、スタッフ込41,777名)
- 内 容：「研究フォーラム」「スポーツ・レクリエーション交流大会」「開会式・フラッ
グリレー」「交歓の夕べ」「特別行事」

②全国一斉「あそびの日」キャンペーン2025

スポーツ庁の共催のもと、「あそび」を通して子どもたちを育み、家族のふれあい、地域の交流等を全国各地で促進するために、全国一斉「あそびの日」キャンペーン2025(22回目)を開催した。

「たのしみチャージ!!」をサブタイトルとし、全国4,436のプログラムに合計183,182名が参加した。(2024年度：5,021プログラム・181,487名)

レクリエーション関係団体については、全国42都道府県内において243プログラムが開催され、参加者数は79,319名、スタッフも6,395名となり、昨年度を大きく上回った。

さらに新たな取り組みとして、スポーツ庁が推進する「紙風船エクササイズ」を全国推

奨プログラムとして関係団体の各事業内で実施。スポーツ庁オリジナル紙風船を各事業へ配布し、「紙風船エクササイズ」と連動したプログラム「とばせ！みんなのあそび玉！！」を展開し、多くの団体から活動写真が寄せられた。

- サブタイトル たのしみチャージ！！
- 開催期間 2025年9月13日（土）～11月16日（日）
- 主催 公益財団法人日本レクリエーション協会
- 共催 スポーツ庁、都道府県レクリエーション協会、一般財団法人日本ユースホステル協会、一般財団法人休暇村協会、一般財団法人公園財団、独立行政法人国立青少年教育振興機構
- 全国後援 総務省、こども家庭庁、全国市長会、全国町村会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、公益財団法人日本パラスポーツ協会

③ウェブサイト等を活用した情報配信

各種事業の速やかな発信に努めるとともに、道県協会のホームページのリニューアル、運用支援を行った。その他、メールでの情報配信サービスを対象別に行い、SNS（フェイスブック、ツイッター）を活用した情報配信等も実施した。

(1)ウェブサイト

- ・協会サイト recreation.or.jp 閲覧数：746,681PV 訪問者数：428,709人
- ・レクリエーション情報サイト“レクぼ” recreation.jp
閲覧数：3,665,964PV 訪問者数：428,709人
- ・レクリエーション・カタログ shop.recreation.jp
閲覧数：447,462PV 訪問者数：36,239人
- ・健康スポーツ促進サイト”ケンスポコム” kenko.sportscom.jp
- ・レクリエーション資格紹介サイト shikaku.recreation.jp
- ・公認指導者サイト mem.recreation.or.jp
- ・講師派遣サイト kensyu.recreation.or.jp
- ・あそびの日サイト asobi.recreation.jp
- ・子供の体力向上ホームページ kodomo.recreation.or.jp
- ・課程認定校サイト recschoolstart.recreation.or.jp
- ・スポーツテンカサイト sportstenka.com

(2)メールマガジン

- ・公認指導者向け レクマガ（月1回配信）
- ・レクリエーション・サポーター向け ピアサポ（月1回配信）

(3)SNS 配信

フェイスブック、ツイッター、インスタグラム

(4)都道府県レクリエーション協会 web サイト支援

北海道、福島県、福島市、栃木県、長野県、長崎県の各協会の web サイトの運用保守を行った。あわせて、新たに三重県協会の web サイトの移設を行った。

(2) 生涯スポーツ推進及びその他レク普及

①「健康スポレクひろば」普及推進事業

普段運動をしていない高齢者（スポーツ未実施者）に参加を促し、スポーツ・レクリエ

ーション活動を通じた健康づくりを行う「健康スポレクひろば」普及推進事業を 73 地区で実施した。全国で 762 回のプログラムを実施し、延べ 11,659 人が参加した。(2024 年度：74 地区・756 回・12,096 人)

・実施地区 (73 地区)

青森県青森市、福島県伊達郡国見町・二本松市東和、東京都中央区・東大和市、新潟県新潟市 (7 地区)・柏崎市・阿賀野市・佐渡市・村上市・新発田市・出雲崎町、埼玉県上尾市、千葉県千葉市・袖ヶ浦市、野田市 (2 地区)、富山県富山市 (2 地区)、石川県志賀町・津幡町・羽作市、福井県福井市 (4 地区)・鯖江市、愛知県長久手市、京都府京都市、兵庫県神戸市・明石市、山口県宇部市 (3 地区)・岩国市・山口市 (2 地区)・山陽小野田市・防府市・下関市 (2 地区)、高知県高知市 (2 地区)・高岡郡 (3 地区)・香南市、福岡県築上郡・宇美町・京都郡みやこ町・北九州市 (4 地区)、熊本県熊本市 (4 地区)・山鹿市 (2 地区)・玉名郡 (2 地区)・阿蘇郡・八代市 (3 地区)、佐賀県武雄市

②スポレク EXPO ～健康スポーツ・フェスティバル～

子どもから高齢者、障がい者など幅広く市民を対象に、多様なスポーツ・レクリエーション種目の体験と交流の機会を提供する「スポレク EXPO」～健康スポーツ・フェスティバル～を実施した。2025 年度は、全国 21 会場で合計 41 回実施し、延べ 27,880 名が参加した。(2024 年度：21 会場・54 回・35,046 名)

・実施会場 (委任先)

NO	委 託 先 団 体 名	開 催 日
1	青森県レクリエーション協会	令和 7 年 10 月 5 日
2	岩手県レクリエーション協会	令和 7 年 9 月 20、21 日
3	福島県レクリエーション協会	令和 7 年 8 月 31 日
4	埼玉県レクリエーション大会 in 所沢実行委員会	令和 7 年 10 月 19 日
5	新潟県レクリエーション協会	令和 7 年 10 月 4、5、13 日
6	長野県レクリエーション協会	令和 7 年 7 月 13 日、9 月 28 日、11 月 22 日
7	石川県レクリエーション協会	令和 7 年 8 月 9、10 日 ※8 月 10 日大雨のため中止
8	福井県レクリエーション協会	令和 7 年 9 月 20 日
9	京都府レクリエーション協会	令和 7 年 11 月 29 日
10	兵庫県レクリエーション協会	令和 7 年 10 月 12 日、 令和 8 年 2 月 1 日
11	岡山県レクリエーション協会	令和 7 年 9 月 15 日
12	山口県レクリエーション協会	令和 7 年 6 月 1 日～7 月 27 日
13	徳島県レクリエーション協会	令和 7 年 9 月 21 日
14	愛媛県レクリエーション協会	令和 7 年 11 月 9 日
15	高知県レクリエーション協会	令和 7 年 10 月 12 日～11 月 30 日
16	福岡県レクリエーション協会	令和 7 年 11 月 23 日
17	福島市レクリエーション協会	令和 7 年 5 月 4 日
18	狭山市レクリエーション協会	令和 7 年 6 月 8 日
19	UEKI レクリエーション協会	令和 7 年 11 月 8 日

20	秋田・由利本荘にかほウオーキング協会	令和7年9月27、28日
21	青森県ウオーキング協会	令和7年9月28日

③～Sport in Life を推進する～元気アップ教室

「子どもの体力向上」や「健康寿命の延伸」、「地域の活性化」などの多様化する課題に向けて、誰もが楽しくレクリエーションスポーツに取り組むことができるよう、ルールや遊び方をアレンジできる知識や技術を学び、提供する方法を身につける「元気アップ教室」を全国15道県にて32教室を開催し、延べ634人が参加した。

NO	委託先団体名	元気アップ教室
1	北海道レクリエーション協会	チャレンジ・ザ・ゲーム
2	青森県レクリエーション協会	ニチレクボール／チャレンジ・ザ・ゲーム
3	山形県レクリエーション協会	ラダーゲッター／ゲーム・コスモス
4	福島県レクリエーション協会	チャレンジ・ザ・ゲーム／ラダーゲッター／ニチレクボール
5	千葉県レクリエーション協会	ニチレクボール
6	新潟県レクリエーション協会	ラダーゲッター／チャレンジ・ザ・ゲーム
7	富山県レクリエーション協会	ラダーゲッター／チャレンジ・ザ・ゲーム
8	兵庫県レクリエーション協会	ラダーゲッター／チャレンジ・ザ・ゲーム／ニチレクボール／ふらば～る
9	和歌山県レクリエーション協会	チャレンジ・ザ・ゲーム
10	岡山県レクリエーション協会	ふらば～る／チャレンジ・ザ・ゲーム
11	山口県レクリエーション協会	ゲーム・コスモス／チャレンジ・ザ・ゲーム／ニチレク・スティック
12	徳島県レクリエーション協会	ゲーム・コスモス／スポーツテンカ
13	高知県レクリエーション協会	チャレンジ・ザ・ゲーム／ニチレク・スティック／ラダーゲッター／チャレンジ・ザ・ゲーム
14	福岡県レクリエーション協会	ラダーゲッター／
15	鹿児島県レクリエーション協会	チャレンジ・ザ・ゲーム／ラダーゲッター

④全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会

年間を通して、いつでも、どこでも、誰でも参加することができる「全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会」を開催し、合計674件の記録が認定された。(2024年度：776件)

⑤受託研修、講師派遣等によるレクリエーションの普及

(1)研修会等への講師派遣

首都圏を中心に、行政機関、社会福祉協議会、高齢者施設、青少年育成団体、企業等からのレクリエーション研修の依頼に対し、講師を派遣した(17件)。

なお、遠方からの依頼については当該都道府県レクリエーション協会へ依頼し、各協会より講師を派遣した(13都府県、18件)。

(2)公民館への講師派遣

明治安田生命が公民館の講座を支援する「MY定期講座」において、依頼のあった公民館へ講師を派遣した。

- ・派遣先 北海道、千葉県（3事業）、埼玉県（4事業）、東京都（2事業）
福岡県（2事業）、熊本県、山梨県、

⑥第80回全国レクリエーション大会（2026年）プレ大会

2026年度開催の第80回全国レクリエーション大会の機運を高めるため、熊本県内5市（8会場）にてプレ事業を実施した。

特に、熊本城二の丸公園では17種目のレクリエーションスポーツを体験体験できるイベント（スポレクEXPO）を開催し、延べ約4,800人が参加した。

⑦令和7年度「スポーツの日」中央記念行事

スポーツ庁やスポーツ関連団体と共に「令和7年度スポーツの日中央記念行事スポーツ祭り2025」を、ハイパフォーマンススポーツセンターで開催した。

日本レク協会担当プログラムでは、「レッツ・チャレンジ！おもしろスポーツ」をNTCイースト（共用コートA）にて実施。午前・午後の2部構成で各6種目を体験。計11種目の団体が体験ブースを設置し、106組の親子が参加した。（ラダーゲッターのみ共通種目）

- ・主催：スポーツ庁、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本レクリエーション協会、公益財団法人日本パラスポーツ協会
- ・期日：2025年10月13日（月・祝）

⑧生涯スポーツ・体力づくり全国会議2026

スポーツ庁、関連団体と共に「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2025 - 人・スポーツ・未来 -」を栃木県宇都宮市にて実施した。

全体テーマ「次期スポーツ基本計画に向けた期待」のもと、全体会と4つの分科会が実施された。

また、協賛団体等の展示ブースも実施され、運営総括を担当した。

- ・主催：スポーツ庁、生涯スポーツ・体力づくり全国会議実行委員会（公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本レクリエーション協会、公益財団法人日本スポーツ施設協会、公益財団法人スポーツ安全協会、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合、公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会、公益財団法人日本パラスポーツ協会、公益財団法人健康・体力づくり事業財団、栃木県）
- ・期日：2026年2月10日（火）
- ・参加者：438名

4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及

①レクリエーション・カタログ2025の作成

スポーツ・レクリエーション活動を効果的に実施するための用具・書籍を紹介するレ

クリエイション・カタログ 2024 を作成した。約 2 万 3 千部を発行し、全国の福祉施設、関連機関・団体へ配布した。

②ウェブサイト：WEB 版レクリエーション・カタログの運用

レク・カタログのウェブサイト運営を行った。

○アクセス評価：閲覧数：447,462PV 訪問者数：36,239人

(2024年度：265,377PV 訪問者数：44,157人)

③オリジナル用具の開発

昨年度開発した、健康づくりの現場や高齢者施設等で活用しやすい用具「ゲーム・コスモス」について、生涯スポーツ・体力づくり全国会議や Sport in Life コンソーシアム交流会での紹介や、ゲーム・コスモス普及員の養成をとおして普及を図った。また、引き続きインディアカ・ボールや「ふらば〜る」等の既存用具の品質向上を目指したリニューアルも進めた。

5. その他 法人事務

①生涯スポーツ功労者表彰（文部科学大臣表彰）

地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及及び発展に貢献し、功績顕著なレクリエーション公認指導者等を日本レクリエーション協会が推薦し、下記の方々が生涯スポーツ功労者として認められ、文部科学大臣より表彰された。

- ・天内 桂子 氏 青森県レクリエーションダンス協会会長
- ・菅家 礼子 氏 特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会副会長
- ・高木 昭一 氏 一般社団法人栃木県レクリエーション協会専務理事
- ・黒川 道子 氏 一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟指導者
- ・小林 美和 氏 公益社団法人日本ダーツ協会常務理事
- ・中嶋 佳奈恵 氏 石川県レクリエーション協会常任理事
- ・槐島 はま子 氏 (公財) 日本レクリエーション協会公認 レクリエーション・コーディネーター／上級レクリエーション・インストラクター
- ・島野 哲司 氏 大阪府生涯スポーツ・ディレクターの会認定指導員
- ・大上 紋子 氏 特定非営利活動法人愛媛県レクリエーション協会理事
- ・大津 重昭 氏 三潞町レクリエーション協会会長

②レクリエーション運動普及振興功労者表彰（理事長表彰）

レクリエーション運動の普及・発展に多大なる功績をあげた者を、加盟団体より推薦を受け 66 名、5 団体、2 校を表彰した。

○受賞者	都道府県レクリエーション協会推薦	57 名
	種目・協力加盟団体推薦による推薦	9 名
	市町村レクリエーション協会	5 団体
	課程認定校	2 校

③レクリエーション公認指導者優秀学生表彰

課程認定校卒業時に、各校で優れた学生を表彰する制度。2025年度は72名を表彰した。

④理事会

- 第1回 2025（令和7）年5月20日（火）14：00～15：30
公益財団法人 日本レクリエーション協会 会議室（オンライン会議併用）
 - ・2024（令和6）年度事業報告（案）について
 - ・2024（令和6）年度収支決算（案）について
 - ・2025（令和7）年度定時評議員会の招集について
- 第2回 2025（令和7）年6月13日（金）16：00～17：00
 - ・理事長の選任について
 - ・副理事長、専務理事の選任について
 - ・常勤理事の報酬について
- 第3回 書面理事会 2026年1月19日
 - ・書面評議員会の開催について
 - ・事務局移転について
- 第4回 2026（令和8）年3月16日（月） 14：00～15：30
公益財団法人 日本レクリエーション協会 会議室（オンライン会議併用）
 - ・2026（令和8）年度事業計画（案）について
 - ・公益目的事業及び収益事業の内容について
 - ・2026（令和8）年度収支予算（案）と借入金限度額について
 - ・206年度資金調達及び設備投資の見込みについて
 - ・公益充実資金等取扱規則について
 - ・加盟団体規程の改定について

⑤評議員会

- 定時評議員会 2025（令和7）年6月13日（金）14：00～16：00
日本レクリエーション協会 会議室（オンライン会議併用）
 - ・2024年度収支決算報告（案）について
 - ・理事及び監事の選任について
- 書面評議員会 2026年1月27日
 - ・定款変更について

⑥一般社団法人日本インディアカ協会事務局運営支援

一般社団法人日本インディアカ協会の事務局運営を支援した。

- ・協会運営の支援
- ・ホームページ等の管理・運用
- ・会員情報管理・運用支援

⑦当該公益法人の運営体制の充実を図るための取り組み

当該公益法人の適正かつ効率的な運営を確保するため、理事会・監事による監督機能の強化を図るとともに、内部管理体制の整備および業務プロセスの見直しを行い、ガバナンスの充実に努めた。

⑧協会事務局移転

協会事務局が入るビルの建てかえが決まったことから、移転を決定した。移転は2026（令和8）年4月18日に行った（移転先：台東区浅草橋1-9-16日東ビル7階）。

[都道府県別公認指導者一覧] (令和8年3月31日現在)

所属協会	人数	インストラクター	準中級	中級	準上級	上級	スポレク指導者	余暇開発士	レクコーディネーター	福祉レクワーカー	延べ数
1 北海道	1,253	342	755	64	52	29	182	1	66	36	1,527
2 青森県	474	107	307	19	25	8	14	0	11	37	528
3 岩手県	566	141	344	19	43	15	31	3	26	43	665
4 宮城県	1,002	335	529	48	43	20	49	2	59	81	1,166
5 秋田県	264	28	186	12	13	16	17	2	20	19	313
6 山形県	241	48	130	11	13	6	0	1	12	46	267
7 福島県	737	97	491	38	36	17	112	1	29	60	881
8 茨城県	532	100	331	17	42	15	12	5	20	73	615
9 栃木県	659	165	380	31	59	14	22	2	28	73	774
10 群馬県	693	200	419	19	42	3	12	4	13	44	756
11 埼玉県	763	69	554	50	64	10	38	12	40	55	892
12 千葉県	1,013	265	597	45	63	15	56	20	50	46	1,157
13 神奈川県	812	107	554	52	47	28	33	27	56	43	947
14 東京都	1,860	386	978	111	127	62	231	37	109	121	2,162
15 新潟県	1,069	257	532	30	129	21	91	27	81	157	1,325
16 富山県	305	48	220	7	19	8	20	4	16	18	360
17 石川県	191	9	132	16	25	3	24	2	20	21	252
18 福井県	359	103	179	8	48	12	26	0	30	86	492
19 山梨県	138	26	90	10	9	1	13	0	4	8	161
20 長野県	524	57	373	34	43	4	48	2	37	36	634
21 岐阜県	772	183	465	49	50	15	71	5	44	39	921
22 静岡県	773	77	479	48	86	14	77	9	44	108	942
23 愛知県	1,549	489	804	73	96	42	127	8	96	83	1,818
24 三重県	569	89	370	30	38	22	13	3	45	47	657
25 滋賀県	211	26	137	14	20	8	6	3	20	18	252
26 京都府	513	168	263	33	34	11	16	1	29	30	585
27 大阪府	1,374	328	815	76	87	23	73	17	103	83	1,605
28 兵庫県	1,116	172	748	65	67	21	101	24	47	96	1,341
29 奈良県	118	13	81	9	8	2	19	5	11	8	156
30 和歌山県	152	1	123	9	5	9	2	1	11	8	169
31 鳥取県	210	29	140	10	24	5	20	3	11	23	265
32 島根県	425	96	277	14	28	5	9	2	19	19	469
33 岡山県	580	73	361	25	96	16	7	7	42	91	718
34 広島県	922	148	565	52	80	26	37	9	60	127	1,104
35 山口県	673	154	419	24	59	9	56	7	29	54	811
36 徳島県	454	120	276	18	19	6	132	3	8	30	612
37 香川県	398	58	303	17	13	1	20	4	5	15	436
38 愛媛県	495	69	364	28	22	4	30	1	13	28	559
39 高知県	267	26	215	11	10	2	12	0	8	9	293
40 福岡県	1,210	311	733	54	66	26	22	16	71	50	1,349
41 佐賀県	287	58	178	14	32	4	27	3	5	35	356
42 長崎県	422	57	307	26	20	11	20	1	15	22	479
43 熊本県	315	36	235	14	22	6	42	1	16	20	392
44 大分県	410	81	262	23	28	9	27	4	21	32	487
45 宮崎県	311	23	231	22	21	14	48	3	19	17	398
46 鹿児島県	757	204	400	37	85	18	45	7	52	91	939
47 沖縄県	348	92	205	7	26	10	69	1	25	16	451
48 北九州市	129	24	80	12	7	6	6	0	11	3	149
合計	29,215	6,095	17,917	1,455	2,091	652	2,165	300	1,607	2,305	34,587

2025（令和7）年度事業報告 附属明細書

2025（令和7）年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2026（令和8）年6月
公益財団法人日本レクリエーション協会